

様式第 1 (第 15 条関係)

会 議 録

会議の名称	和泉市市民活動推進支援事業審査会
開催日時	令和3年3月8日(月) 午前9時から午後0時まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター1階中集会室
出席者	黒田会長、湯川副会長、青山委員、笠井委員、西田委員 事務局(小池課長、横田総括主幹、仲総括主査、中村主事)
会議の議題	令和3年度事業における応募団体の審査
会議の要旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに</li> <li>2. 市長あいさつ</li> <li>3. 委嘱状交付</li> <li>4. 会長・副会長の選出</li> <li>5. 審査の進め方・審査方法について</li> <li>6. 令和3年度事業における応募団体の審査             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 事務局説明</li> <li>(2) 書類審査</li> </ol> </li> <li>7. その他・事務連絡</li> </ol>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他( )
その他の必要事項(会議の公開・非公開、傍聴人数等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議の形式：公開</li> <li>・ 傍聴人：0人</li> <li>・ 議事録の公開：有り</li> </ul>

## 審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

### 【司会】

本日はお忙しい中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

ただいまから、和泉市市民活動推進支援事業審査会を開催させていただきます。私、本日の司会進行を務めさせていただきます市長公室公民協働推進室の仲でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日が初めての審査会でございますので、まず、市長から皆様に本審査会委員の委嘱状を交付させていただきます。その後に応募団体の審査をお願いしたいと思います。

それでは、次第2に移らせていただきます。

開催にあたりまして、辻 宏康和泉市長よりご挨拶申し上げます。

### 【市長挨拶】

和泉市長の辻でございます。本日は大変お足下の悪い中、お忙しい中にもかかわらず、和泉市市民活動推進支援事業審査会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、この度は委員の委嘱をお願い申し上げましたところ、快くお引き受けいただきましたことを重ねて御礼申し上げます。さて、平成22年に始まりまして、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業、愛称ちよいずと申しまして、和泉市自治基本条例の理念の1つでございます、市民相互の協働によるまちづくりを進めるための事業として、取組みを行ってまいりました。事業の内容といたしましては、それぞれの団体さんの事業を登録していただきまして、その事業に対して、市民の方々が投票する、その投票数に応じて、和泉市から支援金を出させていただくという、そういう仕組みで、市民が市民を応援するというコンセプトで実施してまいりました。約10年となりまして、いろいろな問題点、課題点がございまして、それをリニューアルして新たな事業に取り組もうということで、和泉市市民活動推進支援事業ということで、新たなスタートを切るわけでございます。その事業につきましても、登録していただいた事業を皆様方に審査をしていただき、大変重い役割をお任せするわけでございますが、今後更に市民活動事業が活性化していくように皆様方のお力添え賜りますようお願い申し上げます、御礼のあいさつとさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

### 【司会】

ありがとうございました。

続きまして、次第3. 辻市長より皆様に委嘱状及び辞令の交付をいたします。

### 【委嘱状・辞令交付】

### 【司会】

ありがとうございました。

それでは、あらためまして委員のみなさまをご紹介します。

桃山学院大学社会学部社会学科准教授の黒田委員でございます。特定非営利活動法人SEIN代表理事の湯川委員でございます。社会福祉法人大阪ボランティア協会の青山委員でございます。税理士の笠井委員でございます。和泉市市長公室公民協働推進室室長の西田委員でございます。

よろしくをお願いいたします。

誠に失礼とは存じ上げますが、市長につきましては、他の公務のためここで退出とさせていただきます。

それでは続きまして、次第4、会長・副会長の選出にうつらせていただきます。会長・副会長については、本来であれば、委員の皆様にご互選していただくこととなっておりますが、事務局からの提案といたしまして、会長に黒田委員、副会長に湯川委員はいかがでしょうか。

### 【委員】

異議なし

【司会】

異議なしのお声がありましたが、黒田委員様、湯川委員様ご就任についてご承諾いただけますでしょうか。

【両委員】

承諾

【司会】

ありがとうございました。

それでは、黒田委員様、湯川委員様につきましては、会長、副会長席の方へ移動をお願いいたします。

それでは、就任にあたり、会長である黒田委員にご挨拶を賜りたいと思います。

黒田会長、よろしく願いいたします。

【会長挨拶】

本日はよろしく願いいたします。先ほど市長のごあいさつにありましたように、ちよいづ制度がリニューアルして、新しい和泉市市民活動推進支援事業となりまして、本日が第1回目の審査会ということになります。今回からは審査会ということで、委員が団体さんを審査する形となります。以前でしたら投票によって支援の金額が決まったり、支援の内容の評価が投票で行われるということでしたが、その部分を委員で行うということとなりますので、より一層慎重にやっていきたいなと思っています。本日は1回目ですので、何でも質問等あればどんどん聞いていただいて、1つ1つ確認しながらやっていきたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

【司会】

ありがとうございました。

それでは、次第5、審査の進め方・審査方法に移らせていただきます。

まず本日の会議資料の確認をさせていただきます。

審査会次第、資料1から資料3、団体募集要項、以上でございます。

不足資料等ございましたら、挙手いただきますようお願いいたします。

ないようでございますので、続きまして、本日の審査会の進め方についてご説明させていただきます。本来であれば公開プレゼンテーション及び面談を実施いたしまして、審査をしていただくところでございますが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、今回は公開プレゼンテーション及び面談につきましては中止とさせていただきます、書類審査のみとなりますことを何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

審査の進め方といたしましては、令和3年度事業におけるエントリー団体、33団体について、事務局よりご説明をさせていただきます、質疑応答を経て、審査をしていただきます。

団体数が多いため、コースごとに分けて事務局よりご説明させていただきます。

質疑応答や採点につきましてもコースごとをお願いいたします。

まずはじめに、チャレンジコースの団体を事務局より一括でご説明させていただきます、その後、チャレンジコースについての質疑応答を経まして採点をしていただきます。

その後チャレンジコースの採点表を回収し、ステップアップコースの団体について事務局より説明させていただくという流れでございます。それ以降は同じ繰り返しとなります。

最後に地域活性化コースの質疑応答、採点を終了しまして、採点表をご提出いただきますと審

査は終了となります。

最後に、次第7、その他として、今後のスケジュール等についてご報告させていただきます。

以上が、審査の進め方でございます。

続きまして、審査方法についてご説明させていただきます。

団体募集要項の7ページから10ページをご覧ください。まず、チャレンジコースにつきましては、8ページにある各審査項目に対しての○×による審査をしていただきます。すべての審査項目において適正(○)と判断された場合に、支援対象団体として決定し、ひとつでも適正でない(×)があった場合は支援対象外となります。

続きまして、ステップアップコースと地域活性化コースにつきましては、9ページ及び10ページにある各審査基準に基づき採点をしていただく採点方式となります。全委員の各項目における採点の平均点の合計を得点化いたします。合計得点が60点以上であれば支援対象団体として決定し、60点未満の場合は支援対象外となります。

次に採点方法につきまして、ステップアップコース及び地域活性化コースにつきましては、5段階評価を行って頂きます。「3」を基準にし、内容が優れている場合は「4」、非常に優れている場合は「5」、また内容がやや劣る場合は、「2」、劣る場合は「1」といったように良ければ上げ、悪ければ下げるといった形で採点していただきます。

配点が10点の項目につきましては、5段階評価していただいた採点に「×2」(2倍)として得点化していただくようお願いします。

各審査基準に基づき、全委員の各項目における採点の平均点の合計を得点化いたします。得点が60点以上であれば、支援対象団体として決定いたします。

以上が審査の進め方でございます。

それでは、以後の進行について会長よろしくお願ひ申し上げます。

#### 【会長】

会議に入ります前に、和泉市助成審査委員会規則第6条第2項の規定によりまして、会議の開催要件であります、委員の過半数の出席があると認め、本日の議事を進めさせていただきます。

それでは、次第6、令和3年度事業の応募団体の審査についてですが、審査団体が33団体と多いことから、事務局からの説明については、コースごとに分けてお願ひしたいと思ひますが、委員の皆様、よろしいでしょうか。

#### 【委員】

異議なし

#### 【会長】

それでは、事務局、コースごとに説明願ひます。「ちょいず」からの継続事業につきましては、事業の目的や事業概要が大幅な変更がない場合は、割愛して説明願ひます。

審査委員の皆さんには8ページの審査基準があると思ひますが、ちょいずの時から公益性辺りが課題になったと思ひます。公益性の評価が重要となってくると思ひますので、その辺りを中心に説明を聞いていただけたらと思ひます。

#### 【事務局】

令和3年度事業における応募団体の申請状況及び各団体の事業内容について、公民協働推進室の中村よりご説明をさせていただきます。

まず、資料1「令和3年度和泉市市民活動推進支援事業エントリー団体一覧」をお願いします。まず、応募団体数は、33団体、申請事業の実施に伴う事業費総額は、3,475万550円と

なっており、それに対する団体からの支援希望総額は、1,270万円となっております。

次に、応募団体33団体の内訳でございますが、チャレンジコースが10団体、ステップアップコースが12団体、地域活性化コースが11団体となっております。

この33団体以外にも、3団体（MOA美術館和泉市児童作品展実行委員会、はつが野いきいきサロン、いずみ「歌の広場」）申請がございましたが、新型コロナウイルスが収束しない現状を鑑みて、やはり申請をやめるというご連絡がございました。

また、33団体の内訳といたしまして、「ちょいず」制度へ申請されたことがある団体が27団体、新規申請が6団体でございます。黄色の色を付けている団体が、新規団体でございます。令和2年度「ちょいず」に申請があり令和3年度の申請がなかった団体は11団体（あおばお助け隊、ミータスコア・グループ未来、S”yoga、MOA美術館和泉市児童作品展実行委員会、総合型地域スポーツクラブ大阪和泉光倶楽部、一般社団法人障がい児の暮らしを支える会、Glanz Wind Orchestra、コーラスグループぶどうの木、一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会、ローズウッドー、いずみの国のいつくしみ市実行委員会）でございます。その理由の多くが、新型コロナウイルスの影響によるものと確認しております。

以上が、申請状況でございます。

資料2につきましては、各応募団体の資料一式となっております。

資料3につきましては、採点をしていただくシートとなっておりますのでよろしくお願ひいたします。

クリップ止めの資料は、今回、公開プレゼンや面談を中止し、アピールが出来ない状況になったため、申請書類以外に何か追加で資料がある場合はご提出下さいと各応募団体に案内をしたところ、5団体から追加の参考資料が出てきましたので、添付しております。

継続事業につきましては、事業の目的や事業概要はおおむね変わっていない団体がほとんどでございますので、会長からのご指示がございましたように、説明を割愛させていただき、事業計画書の6「審査項目からみた事業の自己PR」の部分を中心にご説明させていただきます。団体数が多く、時間も限られておりますことから、自己PRの部分につきましては、アピールポイントをピックアップし簡潔にご説明させていただきたいと思っております。

新規事業につきましては、事業の目的や事業概要につきましてもご説明させていただきます。

それでは、まずチャレンジコースに申請された団体からご説明させていただきます。

団体番号1、太極拳青空（ブルースカイ）でございます。こちらは新規事業です。太極拳を通して、会員各自の健康増進と地域の相互の親睦を図ることを目的としています。事業内容は、平日の朝に太極拳を榎尾川公園にて行います。また、要請があった施設へ太極拳を教えに行きます。

公益性：運動不足や孤独化等の問題がある現状／運動不足解消や地域間交流促進に繋がる

継続性：1995年から継続／健康増進以外にも人との繋がり強化にも効果が波及

実行性：過去の実績を元に予算や計画を決定／太極拳を教えられる体制／会員メンバーは安定  
協働性：世代を超えた交流

公開性：誰でも参加見学できる場所で実施／参加者の紹介・口コミで周知

発展性：誰でも参加できる体制／健康増進や認知症予防に繋がる

予算書につきましては、事業費総額が110,600円で全て対象経費となっております。支援希望額につきましては、73,000円となっております。

収入の部の内訳としましては、支援金の他に自主財源37,600円となっております。

また、支出の部の内訳といたしまして、衛生費、用紙、ラジカセ、ライト、太極拳時の熱中症対策費等の消耗品費107,000円、要請があった際の旅費2,000円、役務費として保険代1,600円、となっております。消耗品費に計上されている電池式ライトですが、特に冬場だと朝暗いので、太極拳実施の際に必要と聞いておりました。しかし、先日改めて団体に確認したところ、太極拳をしている時は、榎尾川公園の横にある和泉市立総合医療センターの明かりが

ついており、行き帰りの道中に主に使うライトと確認しました。事業に直接必要な経費を対象経費とするので、事務局といたしましてはこの電池式ライトは対象外経費であると考えています。

団体番号2、パソコン会でございます。事業名は障がい者のためのパソコン教室となっております。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：障がい者のためのパソコン教室は珍しく、障がい者に理解のある市民には共感を得られる事業／障がい者の活動の場ができることは、障がい者やその家族にも有益／誰もが暮らしやすい社会を作るために大切な事業

継続性：平成18年から継続／常にチラシ等で参加者募集／参加者から前向きな意見が多い／参加費の徴収や寄付金のお願いで財源確保

実行性：2020年度もコロナ対策をしつつ事業を実施／事業実施にあたり講師やボランティアスタッフの協力がある

協働性：実行性にあるように、各種協力がある／講師・ボランティアスタッフ・参加者間の交流

公開性：チラシを作成し参加者募集

発展性：生活の質向上や社会参加への意欲に繋がる／継続を望む声も多いので今後も継続していきたい

団体番号3、和泉市ディスコン協会でございます。事業名は2021和泉市地域交流ディスコン大会となっております。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：少子高齢化や核家族化が進み、地域交流が途絶えがちな現状／ディスコンは小学生から高齢者まで一緒にできるスポーツのため、地域交流や健康増進に最適

継続性：12年連続大会開催／参加費徴収で財源確保

実行性：初心者講習会や審判研修会等準備をした上で大会実施／インストラクターが指導

協働性：世代を超えた交流ができる

公開性：広報・チラシ・インターネット・ミニコミ紙等で周知／ディスコンの周知活動実施

発展性：普及活動を通して、大会参加者増加・活発な世代間交流に繋げる／他のニュースポーツとの協働検討

団体番号4、いずみこどもAIDでございます。事業名は学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場『CoCo de おしゃべり』となっております。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：不登校や学校に行きづらい子どもを持つ保護者が孤立しがちな現状／保護者の気持ちを楽しめる／子どもにも良い影響を与えられる

継続性：不登校は一時的な場合もあれば長期に渡る場合もあり、何年も参加している方もおられる／保護者の気持ちが楽になれば子どもにも良い影響が及ぶ／こどもに関して悩みを抱えている保護者のため継続していく必要がある

実行性：いろんな場所の人に参加してもらえるよう市内施設4ヶ所を順に巡り開催／講師の方の協力がある

協働性：保護者同士の交流／子ども支援に関わる人の協力／小中学校の協力

公開性：施設や小中学校にてチラシ配布／広報や泉北コミュニティにて周知／メルマガやブログにて活動周知

発展性：保護者同士交流できる場が少ない現状／保護者が安心できる場を提供していく必要がある

団体番号5、和泉中学校区地域つながり会でございます。

こちらは新規事業です。学校・家庭・地域が一体となって、和泉中学校区の子どもたちを見守

り、信頼関係を深め、寄り添いながら地域ぐるみで育てていくことを目的としています。事業内容は、登下校時に子どもたちを見守ります。また、地域で活動している団体との連携や情報交換を行います。

公益性：子どもたちの安全確保／地域の人間関係強化をつなぐ

継続性：10年継続／地域の繋がり強化にも波及／協賛金で財源確保

実行性：子どもたちや地域に貢献するという目的の元、地域の人たちと協力して活動実施

協働性：地域の人たちと協力し、地域全体で見守り活動実施

公開性：活動告知や報告を周知／町会、子ども、保護者にポスターやニュースで広く周知

発展性：子どもを守っていくため今後も継続そして発展させていく必要がある／時間帯や方法を変えた活動も計画中

予算書につきましては、事業費総額が120,000円で全て対象経費となっております。支援希望額につきましては、80,000円となっております。

収入の部の内訳としましては、支援金の他にPTAからの協賛金40,000円となっております。

また、支出の部の内訳といたしまして、役務費として保険代20,000円、印刷製本費10,000円、活動用マスク製作代及び見守り活動時の熱中症対策費等消耗品費90,000円となっております。消耗品費に計上されている、活動用マスクにつきましては、和泉中学校区のロゴが入った、こはく色の目立つマスクを着用して見守り活動を行う予定とのことです。1年間同じマスクを使用するのは難しいということで1人2枚（見守りする人50名×2枚）を考えているとのことです。このマスクをしている人が見守りの人ですよという周知も実施する予定であるとのこと。腕章やベスト等よりも単価が安く、今のご時世にも適しているということで今回計上されております。

団体番号6、モア21でございます。事業名は米作りプロジェクトとなっております。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：子どもたちは農家の苦労や工夫について知る機会がない／米ができる全行程を経験することで農家の苦労を感じ取れる

継続性：5年以上継続／新規参加者が多く、年々参加者増加／ちよいず制度での届出も多く需要がある／参加費徴収で財源確保／参加者から満足の声

実行性：駐車場や休憩場所確保／機械借用可能／地域の多くの方々の協力がある

協働性：町会や農家の協力がある／子ども大人問わず交流できる

公開性：広報・SNS・チラシ等で周知

発展性：米作り以外にも挑戦したい／里山の農林食を学べる塾を開催したい

団体番号7、和泉ここありでございます。こちらは新規事業です。地域住民同士が助け合い、誰もが住み慣れた地域で豊かに暮らし続けられる地域社会づくりを目指し、担い手同士が想いを実現するために出資し、働き、経営をする協同労働を軸に行うことを目的としています。事業内容は、助け合いの担い手を養成するための講座を3クール実施します。

公益性：高齢化社会の課題を解決する人材が必要な現状／住民同士助け合う社会の実現に繋がる

継続性：受講者が各自の地域で活動していくため事業成果が波及／参加費等で財源確保

実行性：助け合いに関してノウハウを持った人たちの協力がある／講座実施の際に必須の費用を申請

協働性：各種団体と協力し事業実施／受講者が各自の地域で活動していき相互連携を促進

公開性：広報・チラシ・SNSで周知／各種団体に周知

発展性：今後範囲の拡大を検討／人材を育成し、受講者が各自の地域で活動することで、助け合う社会実現に繋がる

予算書につきましては、事業費総額が111,300円で全て対象経費となっております。支援希望額につきましては、74,000円となっております。

収入の部の内訳としましては、支援金の他に参加費30,000円、自主財源7,300円となっております。

また、支出の部の内訳といたしまして、報償費として講師謝礼54,000円、使用料が42,300円、資料代や消毒剤等消耗品12,000円、印刷製本費3,000円となっております。

団体番号8、和泉相撲甚句健康教室でございます。こちらも新規事業です。相撲甚句の普及と地域の活性化お呼び高齢者の健康福祉の増進を目的としています。事業内容は、和泉市民を対象に月2回相撲甚句健康教室を開き、また各種イベントや老人施設に行き、相撲甚句を披露します。

公益性：伝統文化衰退・地域連帯意識の希薄化・高齢者の健康問題という現状／伝統文化継承・地域の連帯感醸成・健康増進に繋がる

継続性：地域の連帯感醸成にも波及／会費徴収で財源確保

実行性：教えられる体制ができている／必要最小限の金額申請／会員同士目標に向け一丸となっております組織的に安定

協働性：誰でも参画できる／民謡や謡曲やフラダンス等の愛好市民、団体との相互連携のきっかけとなりうる／地域や世代を超えた幅広い交流ができる

公開性：新聞報道活用／市や社会福祉協議会との連携／広報チラシ配布／ロコミ

発展性：誰もが希求する願いを事業目的にしているため今後も継続していく

予算書につきましては、事業費総額が238,400円で全て対象経費となっております。支援希望額につきましては、100,000円となっております。

収入の部の内訳としましては、支援金の他に自主財源138,400円となっております。

また、支出の部の内訳といたしまして、旅費として交通費32,000円、文房具や教材、のぼり、垂れ幕等の消耗品費31,000円、印刷製本費5,000円、通信費や保険料等の役務費12,000円、使用料158,400円となっております。

団体番号9、和泉市少年少女合唱団でございます。事業名も和泉市少年少女合唱団となっております。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：子どもたちの歌う機会が減っている現状／合唱を通して、子どもたちの情緒育成、市民の音楽文化振興に寄与

継続性：イベント等で歌を披露することで、活動をアピールでき、音楽の楽しさを多くの人に周知できる／会費徴収で財源確保

実行性：定期的に練習を実施／イベント等で練習の成果を発揮することで、子どもたちに達成感や努力の必要性を感じる機会となる／講師や小学校の協力、地域のイベントに出演する体制もとれている

協働性：校区や年齢を問わず交流可能／実行性にあるように、各種協力や連携がとれている

公開性：イベント等へ出演／体験練習会を周知／小学校に募集ポスター掲示

発展性：合唱を通して青少年育成や地域文化発展に寄与するといった、意義のある活動をしており、今後も継続していきたいとのことです。

団体番号10、特定非営利活動法人こどもNPOセンターいずみっ子でございます。事業名はおもしろ体験型市場「こども市」となっています。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：子どもの主体的な社会参加の機会減少している現状に対して子どもにとっては社会勉強になる／若い世代を含めた大人へも地域社会で子どもを育む動機を促す。

継続性：子どもが得る達成感、子どもと保護者の幸福の原体験となり、次世代にも影響を与えうる／自主財源以外にも寄付や協力等により補うことに努める

実行性：子どもの参画を促す仕組みを重視／子どもの体験交流の経験を持つ者多数在籍／必要最小限の費用で最大限の成果が得られるよう努める

協働性：出店する子どもたちだけでなく若い世代も参画し作り上げる



公開性：HP活用／小学校や施設でチラシにて周知

発展性：多くの子どもたちから「またやりたい」との声がある／子どもたちが発想から運営まで主体的に取り組む事業はまだ少なく子どもの成長にとって意義のある事業

最後に、①の太極拳青空と⑤の和泉中学校区地域つながり会においては、熱中症対策の飲料代が消耗品費のところに計上されております。スタッフ側が事業を実施する上で必要な身体を動かす作業や活動をする際の飲料であれば、事業に直接必要な経費と考えられますが、参加者のための熱中症対策の飲料代は、参加者自身で負担すべきものであり、補助金として出すものではないと考えております。（例えば、夏祭り参加者全員に対しての熱中症代を認めたら凄く大きな金額となります。）事務局としては、①太極拳青空は参加者に対してのものなので対象外経費、⑤和泉中学校区地域つながり会は見守り活動をするスタッフやボランティアに対してのものなので対象経費となると考えています。委員さまの意見を伺えたらと思っております。

以上でチャレンジコースの説明を終わらせていただきます。  
よろしくお願いたします。

**【会長】**

ただ今、事務局の説明がありました。それでは、書類審査に入ります。  
チャレンジコースの団体についてみなさん、確認のうえ、何かありましたら意見をお願いします。

**【会長】**

まず対象経費にするかどうかについては、見守りの団体の飲料代は、活動に直結するようなことなので、飲み物代を認めたいところではあるが、他の団体に関しては、参加する側の人のための飲料なので、認めにくいということですね。それはそういう判断でよろしいですかね。

**【委員】**

異議なし

**【会長】**

他にどの団体からでも結構ですので、質問があればお願いします。

**【委員】**

団体番号2のパソコン会ですが、支出のボランティアスタッフの謝金というのは、これは人件費でしたか。ボランティアスタッフはどういう扱いなのですか。ボランティアの会員ではないのですか。外から招いているボランティアだから謝金は認めるということですか。

**【事務局】**

はい。

**【委員】**

地域つながり会は、今までも活動していますよね。今、飲料代認めるとなりましたが、今までどうやって調達していたのですか。PTAからの協賛金から出っていたのですか。今回はマスクを買いたいから助成金の申請をされたのですか。

**【委員】**

印刷製本費と飲料代を合わせると40,000円なので、協賛金の中に含まれる感じですよ。そうすると今回はマスク製作をしたかったのかなというように見えますね。

**【委員】**

他にも同じような団体は和泉市内にどのくらいありますか。この団体を認めると、今後同じような団体さんがマスクだけでなくジャンパーや腕章などをここに申請して来られる可能性があると思う

ので、ここは最初なので、確認をしておいた方が良いかなと思いました。

**【事務局】**

これは中学校区になりますので、和泉市内に中学校が10校あるので、残りが出てくるとしたら最大10になるかと思います。

**【委員】**

基本はこういう団体で買うものは団体所有で貸与になると思います。しかし、マスクは衛生的なものなので貸与という感覚にはなりづらいですね。そういった辺りはこの助成金の中で基準は定められていますか。

**【事務局】**

過去にもある団体さんが、会員と分かるようにTシャツを作りたいという話がありましたが、事業に直接必要かと言われたら、なくてもできるということであったので、その時は認めなかったです。そういう経過もあったので、事務局としてもそれと似通っているということもあり、事務局としても実際、これがないと見守りができないのかと言われたら、団体さんでマスクを作らなくとも、腕章やベストなら他の人とも貸し借りができるし、防犯も分かりやすいと思うので、その旨団体さんにもお伝えさせていただいたのですが、団体さんとしては、腕章やベストの代わりにしてマスクの方が作りたいとの事でした。

マスクの方が安価になり、できるだけ活動費を下げられる意味合いもあるみたいですね。金額の比較もしたとのことですね。

**【会長】**

今の時期に合わせて工夫したのでしょうか。

**【委員】**

コロナ禍の中で何か考えだした新しい方法なのかと読めたりもしますが、先ほどの意見で貸与ではなくなるのがどうなのかという感じですね。

**【委員】**

支給になりますものね。

こういう地域教育協議会や防災センター等の行政関係でもこういう取り組みを決めていると思うのですが、そういう助成はないのですか。

**【事務局】**

これまで教育委員会から補助を受けていたみたいで、内容としては、見守り活動以外の清掃活動やふれあいコンサートなどでまとめて補助金をもらっていたそうなのですが、今回、見守り活動を充実させたいというところから、新たにこういった団体を立ち上げて、見守り活動だけを申請してきています。他の清掃活動やふれあいコンサートなどは別の事業としてすると聞いています。

**【委員】**

それは引き続き補助金が出ているのですか。それを切られたとかではないのですか。

**【事務局】**

そうですね、補助金を切られたわけではないです。2重補助ができないので、見守り活動はこちらで、他の活動は教育委員会の方だと聞いております。

**【委員】**

会則の会員の構成員を見たら、中学校区の保護者、教職員、各小学校区町会、青少年指導員等になっているのですが、これは公益性の観点でいうと、どちらかというと地域活性化の方に近いのかなと思ったのですが、町会等が入ってくると、どうなのですかね。考え方として、この校区の子ども達に限定されたりはしないですか。

**【事務局】**

今までも公益性の見方として、最低限小学校区の広がりがあれば認めるという経過はあります。

**【委員】**

それであれば大丈夫ですね。

**【会長】**

Tシャツはダメだけど、マスクに関しては認めるという感じなのですかね。

**【委員】**

値段が安いからですか？

**【会長】**

マスクという使い方ではなくて、腕章の代わりに身につけるものという位置付けなのでしょうね。PTAの方たち含め、マスクをして行ってねという意味もあるのかもしれないですね。マスクせずに出てくる保護者の人に言いにくい部分もあるので、マスクにする。

**【委員】**

論点としては、安価であるため、参加賞300円以内としている様に今後位置付けるのか、もしくは支給なのか、貸与なのかの論点とがあると思います。そうでないと、合唱団等でもマスクをして練習します。とか、色々な団体に関わってきますので、ご判断いただいたほうが良いと思います。発想としては良いと思うのですが、公金を使って支援するかという意味合いでいくと、議論が必要かと思います。

**【会長】**

マスクというとそれぞれが購入するもののイメージがどうしても出てくるが、そういうものではなく、見守りをしている人達というベストのような扱いなのか。

**【委員】**

うちの校区では黄色いジャンパーを着て目立つようにしていますが、マスクだとあまり目立たないような気もします。

**【委員】**

見守り隊と分かるのはやはり、服装とか色とかですよ。

**【会長】**

マスクに何か書くのですか。色だけですか？

**【事務局】**

ロゴを入れると聞いています。

**【会長】**

今回はマスクという意味合いではなく、見守りに参加している方だと他の人と区別できるようにする為の道具だという認識でいきますか。このマスクを認めなければ、ほとんど要らないですものね。

**【委員】**

そうなのですよ。事務局はどうなのですか。今後何年も窓口をされるのが事務局の皆さんのため、意見を聞いておきたいです。我々は気持ち的には落とすよりは通したい思いが強いのですが、

事務局的にどうなのですか。

**【事務局】**

事務局としては、事業に直接必要な経費が対象経費として見ていきたいと考えていますが、このマスクが直接必要な経費なのかというと、自己負担で普通の白いマスクをしていただいたら良いのかと思います。ただ、そういう見守りをしている方なのだと周りに知ってもらいたいということがメインであるのなら、我々が一旦提案させていただいている、腕章やジャンパーの方が知らない人から見てもあの人たちが見守りをしている人たちだという理解は得られるだろうと、そういう目的であれば、その事業をする上で必要性は高いかと思えます。今出ました、マスクでは分かりにくいのではないかという意見は事務局としてももっている意見ではあります。マスクというところが、事務局でも判断がつきづらいというところで、委員の皆様の意見を聞かせていただいた上で判断したいということで、あげさせていただいております。

**【委員】**

マスク以外の選択肢というのは、団体さんとしては、マスク買えないのならもう補助金いらぬという考えなのか、マスクがダメなら腕章にしますという考えなのか、どちらですか。キャップとか腕章とか、ベストとかが多いですね。

**【事務局】**

相手側の気持ちで考えると、腕章やベストだと、付けたがらない人もいと団体の方が言っていました。

**【委員】**

基準を作るとしたら、貸与は認めて、支給は認めないという基準になるのですかね。あとは金額基準とかになってくるのですかね。ある程度基準を作ってあげた方がやりやすいかと思いません。

**【委員】**

そうですね、今後他の校区からまた出てきた時に、基準がある程度ないと難しいですね。

**【委員】**

ユニフォーム系を結構認めることになってしまいますからね。

**【委員】**

金額的な部分も、マスクというのが、そんなに高くないので頭を使ったなというイメージに見えてきてしまいますね。帽子やジャンパーの方が目立つけれども、そうなればもっと高額になってしまうのもありますし、もしかしたら、今回はチャレンジコースでいけていますが、ステップアップコースとなってきた時に、次はジャンパーを購入したいとなってしまうかという心配もあります。

**【委員】**

来年も再来年もマスクしているのかという問題もありますよね。それなら腕章やジャンパーの方がまだイメージがつくと思います。

**【委員】**

皆さんで使いまわしもできるのもありますし、笠井委員のおっしゃる通り、貸与なのか、支給なのかということが最終論なのかと私も思います。

協同募金で事業をしていた時は、支給は認めなかったです。和泉市で他の助成金とかもあるのなら、合わせておいた方が良いのかもしれない。

**【会長】**

審査の基準としては、予算書が認められないとなると、どうなるのでしょうか。そもそもエントリーできないことになるのか、それともこの予算書の部分だけの点数が低くなることになるのかどちらですか。

受け付けているので、審査の土台には乗ってきていると思うので、基準作りとしては今後ルールとして決めるのは良いと思いますが、今の段階で基準はなかったのも、もしダメだという判断をするのであれば、点数で落とすしかないですね。

**【委員】**

そうですね、そして次回からはそういう条件を追記する必要がありますね。

**【会長】**

募集要項には書いていないですよ。

**【委員】**

発想はすごくおもしろいと思いますが、公の助成金で認めるかという話ですね。

**【会長】**

ちょいずの時も、コロナ対策で追加になったのは扇風機とかでした。1人ずつのものってなかったですね。

**【委員】**

色んなところとつながってくると思います。楽譜代も以前出ていましたが、基本的に個人に渡しきってしまって、返してもらえないものについては、資料代、テキスト代で徴収するというのは、行政が主催する講座でもそうだと思います。そういう考え方をした時に、支給を認めてしまうのは、どうかと思います。附帯事項で、支給でないものならOKにしていくとか。

**【会長】**

面接をしていたら、ここでやり取りができたのですが、今回は書類審査ということで聞くことができないので、どうしましょう。

**【委員】**

先ほどの太極拳の飲料代もそうですが、どこまでを熱中症対策と認めるのかや、個人的に読んだ時に、普通スポーツする時は自分で持っていくと思いますので、太極拳もそれに近いと思いました。要綱等色々見てみたのですが、なかなかそこまで整理できていないのが現実かと思います。この事業の中身についても、予算的な部分というのは、今後この委員会の中である程度方向性を決めていってあげて、今年度は初めてすることなので、なんとか認めていってあげるのもありなのかなと思ったりもします。こういう論議をされていると団体にお伝えして、来年度以降またこちらも何らかの形で考えていけたらどうですかね。これはいける、これはダメという線引きは難しいのかなと思いますし、それは本当に貸与なのか、支給なのかと言っていけば、難しいところだと思います。マスクなんて貸与だと言って洗ってまた違う人が使うのはできないですよ。ただ、それが今まで要綱に出ていたのかと言えば、全く出ていないです。

**【委員】**

お金を払っている人たちは市民なので、市民の皆さんのご理解が得られるかという視点では考えていただきたくて、今回で言うと、要綱にそこまで細かいことを書かれていないのであれば、次年度以降はそういったことは検討が入るということをしかりとお伝えした上で今回は、できるだけチャレンジコースということもあるので、応援していきたいですね。ここは事務局の方で

整理が必要だということでしょうか。

**【事務局】**

今、チャレンジコースでご指摘いただいているマスクや飲料代などは、判断が難しい部分につきましては、基準を設けて、申請団体にも対象内対象外が分かるように、委員の皆さまにも審査がしやすいような形にできるよう、今後事務局で検討していきたいと考えております。

**【委員】**

和泉市少年少女合唱団ですが、通常の練習の謝金があるということですが、これもグレーゾーンですか。

**【事務局】**

体験練習会が4回あり、それ以外の20回が基本的に団体の会員を対象にした練習になっており、報償費のところにも指導者謝礼や、伴奏者謝礼が24回分全部入っています。誰でも参加できる体験練習会であれば、広く市民を対象にしているかとは思いますが、それ以外の20回の会員さん対象の練習に対しての謝礼は難しいのかなと事務局では考えています。

**【会長】**

そうですね。

**【事務局】**

この部分につきましては、募集要項の5ページの対象経費になる表の下の部分、※4つめ、「団体構成員のみで行う、会議や打合せ、研修・練習、交流会等に係る経費は対象外とします。」と書かれている内容ですので、そういう判断になれば、これは対象外だということは現時点でも言える内容かと思っています。

**【会長】**

それは、もし少年少女合唱団が承認の点数が出たとしても、謝金に関しては、※4に該当するので対象外経費となると言えるということですか。

**【事務局】**

そうですね、条件付きでこの部分については対象外で認めるという形になります。

**【会長】**

対象外になるかどうかというのは、今、少年少女合唱団で例を挙げさせていただきましたが、審査時気づかずに後からよく見たらあったという場合も、事務局の方でストップできるということですか。

**【事務局】**

そうですね、実績報告をいただいた時点で、再度経費の確認はさせていただきますので、その内容が団体内のものだったということであれば対象外として計上させていただくかたちになるかと思えます。

**【会長】**

これまでは投票があったので、満額もらえないこともあったと思いますが、新制度はこの審査会で金額を決めないといけません。そもそも対象外経費になるようなものを計上されてきているということについて、1番、2番、3番の公益性のところでは予算の話ではなくて、そもそもこの事業自体に公益性があるのかという疑問がわいてきますよね。そうした時に、1番2番3番でそれなりの点数をつけたら良いということですね。

**【事務局】**

そうですね、その理由がコメントとして団体さんに伝えていく内容になるかと思います。

**【委員】**

団体の設立目的や趣旨のそもそものがボランティア活動だとか、施設を訪問するために作られた団体なのか、そうではなく、自分達の趣味で始められたのか、広くとったら文化の発展とか公益性なるのでしょうか、それはスポーツでも習い事でもなんでもそこにつながるので、設立目的のところは重要なかなと思います。体験会を広く開いて、皆さんに合唱の素晴らしさを体験してもらおうとか、チャリティコンサートとか、そういう部分なら OK かなと思います。

**【会長】**

事業内容にはチャリティコンサートに参加等色々書いていますが、実際に予算書を見ると、その部分が見えてこないということですよね。

先ほどのマスクも一応貸与ですよというのは言っても良いと思います。借りている形になるが、結局返されても困るので、そのまま貸し続けますとって借り続けるというようなやり方があるので、今回マスクは認めるとしても、あくまでも個人の物ではなく、貸与すべきものだが、物が物だけに返還は求めない可能性が高い、という扱いだということは、今の段階で言っておいた方が良いでしょう。

他に何かご意見ありますか。

**【委員】**

次回から結構ですので、審査の時に自主財源の内訳を書かれていない空白の団体さんが多く見られます。判断する時に「予算が補助金に頼っていないか」という審査項目がありますので、次回から必ず自主財源を寄付金なのか、会費なのかを明記して欲しいです。書いて下さっている団体さんもあるのですが、書かれていない団体もあるので書いておいていただけるとありがたいです。

**【会長】**

今度、審査基準の文章を採点表に書いておいてもらえたらと思います。

**【会長・委員】**

採点できました。

**【事務局】**

ありがとうございます。

**【会長】**

それでは次にステップアップコースの団体の説明をお願いします。12団体ですね。

**【事務局】**

はい、続きまして、ステップアップコースに申請された団体についてご説明させていただきます。

団体番号1 ASアニマルの森でございます。ASはアニマルサポートの略でございます。こちらは新規事業です。動物にも優しいライフスタイル、人と動物が笑顔で共生できる社会の実現を目的としています。事業内容は、犬猫の保護、保護した犬猫のメディカルチェックや治療、譲渡活動や啓発活動、犬猫預かりボランティア募集等です。

公益性：飼い主の身勝手な行動で多くの犬猫が犠牲になっている現状／人と犬猫が安心して共生できる社会実現に繋がる／犬猫のペットを飼う人の安心にも繋がる

継続性：ボランティア数が増加傾向／寄付や、バザー等の時の収入、募金等で財源確保

実行性：不幸な犬猫を増やさないため適切な対応をとる  
 協働性：市民参加で連携して取り組む／保護犬猫の為に動いてくれるボランティアとの協力  
 公開性：SNS活用／フライヤーでの周知  
 先駆性・展開性：人も犬猫も笑顔で安心できる社会実現という目的の元啓発活動にも積極的に参加／今後小中学校向けに授業を行いたい  
 予算書につきましては、事業費総額が1,600,000円で全て対象経費となっております。支援希望額につきましては、800,000円となっております。  
 収入の部の内訳としましては、支援金の他に寄付金400,000円、バザーやフリーマーケットの際の収入400,000円となっております。  
 また、支出の部の内訳といたしまして、旅費として交通費等50,000円、犬猫のための消耗品等420,000円、検査や治療代等委託料1,100,000円、役務費として郵便料10,000円、使用料として会場費等20,000円となっております。

団体番号2 和泉の国ジャズストリート実行委員会でございます。事業名は和泉の国ジャズストリート2021となっております。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：全会場無料かつオープン／和泉市の文化をPRする場／楽しみにしている人も多く定着してきている  
 継続性：15年継続／多くのボランティアや会場、協賛団体の協力がある  
 実行性：一定のレベルを保つため出演バンドは多角的な視点から決定／市民や学生のボランティアが多数協力してくれ、音響関係の協力もある  
 協働性：市民や学生のボランティア、各会場事業者の協力がある／ミュージシャンも観客もみんなが音楽を楽しみ交流できる場  
 公開性：チラシポスターミニコミ紙等で周知／町のあちこちでジャズ演奏／様々なジャンルの音楽を受け入れておりたくさんの人に関心を持ってもらえる  
 先駆性・展開性：市外からも地域を越えて期待の声があり広がりを見せている

団体番号3 いずみしっぽクラブでございます。事業名は犬の保護・里親とのマッチング活動動物愛護啓発活動となっております。こちらも継続事業であり、事業の必要性及び概要については大きく変更はございません。事業規模に関しましては、令和2年度と比較したところ2分の1となっております。現在保護犬の数が少ないため、交通費や消耗品費、委託料等の金額がそこまでかからないという理由でございます。

公益性：人間の身勝手な行動で飼育放棄されている犬が多くいる現状に対して事業を実施することで保護犬への意識が高まる／協力したいというニーズが高まっていく  
 継続性：イベントでの募金にて財源確保／ボランティア増加等広がりを見せている  
 実行性：市や他団体との連携／保護体制整っている／動物との共生社会実現という目的に向けて、里親譲渡活動や啓発活動にも力を入れている  
 協働性：動物病院の先生・他団体・市と連携しながら活動  
 公開性：SNS・ニュースレター・チラシによる周知  
 先駆性・展開性：市やボランティアの協力もあり活動の幅が広がっている／警察との連携という新たな取り組みを行っている

団体番号4 まちセミ・IZUMI 実行委員会でございます。事業名はまちセミ・IZUMI 2021となっております。こちらも継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：老若男女問わず幅広い市民が参加し学ぶことができる／主体的な学びを取り戻す  
 継続性：コロナ禍でもZOOMでの授業実施／1人1人の学びが、まち全体の学びに繋がり、和泉市のまちづくりに波及／広告協賛やクラウドファンディングで財源確保  
 実行性：2年間の経験を元に計画や予算作成／毎月の実行委員会で検討を重ねている／団体構



成員も実践力に富んだ人ばかり

協働性：ユニークな才能や知識を持った市民が事業に協力／学びを通して多世代がつながることができる

公開性：SNS活用／チラシを広く配布した実績あり

先駆性・展開性：まち全体を学びの場と考える発想は「まちセミ」独自／他地域での開催も検討

団体番号5 内田町ボランティア 蛍の会でございます。事業名は蛍の放流・鑑賞会となっております。こちら継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：広く地域以外の人にも参加してもらえる／自然環境について考える機会となる

継続性：15年以上継続／自然環境の改善にも波及／募金や出店等で財源確保

実行性：自然環境への関心を持ってもらうという目的の元、蛍と触れ合えるイベントを実施／地元の人や桃山学院大学の学生らの協力がある／警備や駐車場誘導体制整備

協働性：広く地域以外の人にも参加／世代間交流が生まれる／町会や桃山学院大学の学生らの協力がある

公開性：SNS活用／こども向けの体験型イベント実施

先駆性・展開性：近年蛍の鑑賞ができる地域が限定されており本イベントは需要がある／参加者も増加傾向で広くひろがりを見せている

団体番号6 特定非営利活動法人いずみの国の自然館クラブでございます。事業名は自然観察・自然史科学の普及・自然史資料の収集整理・研究出版・環境教育・自然館でのイベント事業となっております。こちら継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：自然遊びの実体験の感動を感じる機会が少ない現状／自然に触れ合える活動が盛り沢山／自然豊かな和泉市をアピールできる

継続性：活動16年目／小学校での自然教育に広く関わっている／会費、寄付金、参加費等で財源確保

実行性：NPO法人としての体制・実行力は備わっている／自然の素晴らしさを多くの人に伝える目的の元様々な活動に取り組む

協働性：すべての活動において様々な団体、地元住民等と協力している

公開性：広報・HP・FBでの周知／活動なパンフレット作成

先駆性・展開性：和泉市の自然財産を共有するための活動／観察会は年間500名以上、オオムラサキ祭りは2,000名以上が参加

団体番号7 一般社団法人和泉青年会議所でございます。事業名は第9回 わんぱく相撲となっております。こちら継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：困難に対し勇敢かつ柔軟に立ち向かう心を子どもたちに身につけられる／子どもの健全育成に繋がる

継続性：今回9回目／広く市民が参加しやすい場所の選定／他団体との協働／心身ともに健全に子どもたちが成長していくことに波及／会費にて財源確保／今後協賛金でも財源確保していくことを検討

実行性：安定的な組織構成／過去の経験を元に実行可能な方法で事業実施／子どもたちが安全に相撲を取れる体制の整備／必要最小限の金額の申請

協働性：教育機関等との連携／学校の枠を超えた子ども同士及び親同士の交流が生まれる

公開性：SNS活用／店舗や各種団体にポスター掲示依頼／教育機関を通じて参加者募集

先駆性・展開性：子どものチャレンジ精神を養うことを目的としており、他の取組みとは一線を画する／そういった目的をもって活動していることは、他事業の見本となり、他団体や他地域

にも広がりを見せる／子どもの健全育成・子どもがチャレンジできる機会提供に繋がる

団体番号8 四季の味覚祭実行委員会でございます。事業名は四季の味覚祭 ～地産地消による地域活性化イベント～となっています。こちらも継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：和泉市産の農産物の良さを広く市民にPR

継続性：ちよいずからの継続事業／参加者を通じて和泉市産農産物の魅力が知れ渡る／実行委員会から経費捻出し財源確保

実行性：運営体制の確立／実行委員の積極的な参加

協働性：より多くの人に参加してもらえる工夫／市内関連団体との連携も考えている

公開性：ポスターやチラシでの周知／SNSの活用／広報紙掲載／テレビでの告知

先駆性・展開性：和泉市産の特産物を広くたくさんの人にPRし、更なる盛り上がり創出に努める

また、今回備品の購入を予定されております。イベント時の進行や、案内のアナウンス、司会等に使用する予定のワイヤレスマイク2本でございます。備品として購入が必要な理由といたしましては、3つございまして、まず1つが、予定している催事の内容を遂行するために、一定以上の品質のワイヤレスマイクが必要不可欠であるためでございます。イベントにおいては、一定以上の音質、耐久性、そして何よりも電波状態の安定性が重要になってきます。今回購入希望としている機種は、比較的安価なデジタルワイヤレスマイクでも、かなり安定した電波状態で音が途切れ難くなっています。

2つ目が、レンタルでの手配が不合理で、かつ不経済的であるためです。当該機器は、「業務用機器」で、どこのレンタル業者でも扱っているものではなく、大阪市内の音響会社での扱いがない訳ではありませんが、使用の都度、レンタル費の他に、往復の配達費用が発生します。毎回レンタル費と配達費用が発生するため、購入した場合の金額と結局同じほどかかってしまい、非常に不経済で、かつ、配達リスク（遅延・故障などのトラブル）もあります。ネット上には安価な価格設定のレンタルショップも散見されますが、信頼性が低く、使うことはありません。

3つ目が、事前準備がしにくいいためです。レンタル品は使用日のギリギリにしか到着しない為、事前チェックやリハーサルが充分に出来ない場合が多く、準備に支障が生じやすい面があります。以上の理由から、ワイヤレスマイクを申請されております。

団体番号9 和泉市音楽家連盟「音の和」でございます。事業名は和泉市音楽家連盟「音の和」13th コンサートとなっています。こちらも継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：企画や演出にこだわり幅広い世代が楽しめるようにしている／交流が生まれる／地域の音楽文化向上

継続性：発足から14年／参加者が増えており広がりを感じている／協賛や寄付も増えている

実行性：過去の経験を元に安全に開催できるよう計画／演奏家が充実しており、より良い演奏を参加者に届けられる

協働性：料金が廉価で参加しやすい／音楽に興味の深い人や、青少年をはじめ多くの人々の気持ちに働きかけられる

公開性：チラシポスター掲示／施設・店舗の協力／地域情報誌へ掲載／SNS活用／多くの人に関心をもってもらえる企画を用意

先駆性・展開性：会員は様々な経験を積み日々研鑽している／企画や演奏にこだわり、誰でも楽しめるコンサートにしている

団体番号10 「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い実行委員会でございます。事業名は第30回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集いとなっています。こちらも継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：障害者への偏見や差別、障害のある子どもの進路保障の課題が残る現状／それを解消

## する事業を実施

継続性：34年継続／和泉市内の学校園所や作業所と連携し事業成果を広く周知／カンパ金で財源確保

実行性：事業目的を毎回確認しながら事業を進行／開催場所変更により参加できなくなる人が発生しないようにバスのレンタル費用を予算に計上／中心となる人材に加え、事業に賛同する参加者から人材を確保していく

協働性：一般の人も参加しやすく、市民や団体が一体となって取り組み、幅広い世代の交流が可能

公開性：広報やSNSでの周知／開けた場所での開催

先駆性・展開性：毎回事業後にふりかえり会実施／事業をより良いものにするため、改善や新しいことへの取り組みも検討／いろんな地域に事業の意義を広められる

団体番号11 ことわ会でございます。こちらは新規事業でございます。和泉市の住民に対して、お箏三昧の一日体験会に関する事業を行い、箏に親しみ・楽しむ、加えて演奏・合奏する契機を設けて、伝統文化を生活に取り込み、箏に親しむ仲間づくりをすることによって、QOLの改善と地域交流へ寄与を目的とされています。事業内容といたしましては、月に1回箏の一日体験会を実施し、箏に触れる機会を提供します。その中で、軽い昼食を挟み、参加者同士交流する機会も設けます。最後、年度末には参加者が成果を披露する発表会を実施します。

公益性：箏を弾いてみたいという声を多数耳にしたことがあり、事業を実施することにより伝統文化を継承していく／地域交流のきっかけになる

継続性：箏の魅力に触れることが継続に繋がる／仲間作りにも効果が波及／参加者以外にも伝統文化が波及／参加費徴収や寄付金請願にて財源確保

実行性：箏の指導者の協力がある／仲間作りしやすい環境の整備／箏や立奏台等必要不可欠なものは業者からレンタル／団体構成員の多くは箏合奏を継続している人たちである

協働性：誰でも参加できる体制整備／発表会に向け参加者同士の連携促進／世代や地域、初心者経験者問わず幅広く参加し交流ができる

公開性：ポスターやチラシによる周知／広報紙や地域誌掲載

先駆性・展開性：箏体験で文化力向上に加え、仲間作りが行えるというこれまでにない取り組み／参加者グループが継続して活動することで他地域にも広がりを見せる／発表会を広く周知

予算書につきましては、事業費総額が820,020円で全て対象経費となっております。支援希望額につきましては、410,000円となっております。

収入の部の内訳としましては、支援金の他に発表会参加費110,000円、寄付金10,000円、自主財源290,020円となっております。

また、支出の部の内訳といたしまして、報償費として指導者謝礼360,000円、旅費として体験会や発表会時の交通費64,960円、消耗品費として貸出用爪や文具等30,200円、食料費として指導者昼食代やスタッフ作業時飲料代等31,800円、テキスト・譜面・チラシ・はがき等の印刷製本費24,900円、役務費としてはがき送付代等20,160円、賃借料として箏や立奏台・譜面台等のレンタル代288,000円となっております。

食料費にスタッフ作業時飲料代が計上されておりますが、内容といたしましては、1日体験会や発表会時に、箏を並べる、立奏台を立てる、箏を入れ替える等の作業を伴うため、その際の飲料代とのこと。身体を動かす作業等を伴う事業で水分補給が必要と思われる場合のみ、飲み物代として1人200円を上限に対象経費として認めていますが、事務局としては、ことわ会がする作業が、水分補給が必要な作業ではないと考えております。事務局としては、水分補給が必要な作業というのは、夏場暑い中、祭りの会場を組み立てる作業といったものを想定しておりますが、水分補給が必要な作業というのがどこまでのことを言うのか、明確な基準がなく、ある一定の基準を設ける必要があると考えています。今回はお配りしている募集要項で募集しているので、今後検討課題として基準を決めていけたらと考えております。

団体番号12 特定非営利活動法人いずみ太鼓でございます。事業名は災害復興応援チャリテ

イーイベントいずみの国弥生まつりとなっています。こちらは、令和2年度は「ちょいず」に申請されませんでした。令和元年度までは「ちょいず」に申請されていた事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：防災や災害への意識が低い現状／災害に対しての意識向上／被災地の現状を知れる

継続性：東日本大震災以降毎年継続／本事業で得た情報が広まることでたくさんの人に効果が波及／出店料や参加費等で財源確保

実行性：災害について意識を持ってもらうという目的の元、様々な工夫をする／参加団体との協力

協働性：参加団体との協力／大人も子どもも協力し合い交流している／エコーいずみ店舗会の人と協力

公開性：チラシ配布／エコーいずみや商店等でのポスター掲示／HPやSNSでの拡散

先駆性・展開性：多くの人に関心を持ってもらえる内容を盛り込むことで、多くの人に災害啓発ができる

以上でステップアップコースの説明を終わらせていただきます。

よろしく願いいたします。

**【会長】**

はい、ありがとうございます。それではステップアップコースの12団体につきましてご質問ありましたらお願いします。

**【会長】**

ことわ会の飲料代は琴を並べるスタッフの分でしたか。

**【事務局】**

そうですね、琴を並べたり、立奏台を立てたり、発表会時の琴の入れ替えの際と聞いております。

**【会長】**

琴を弾いたことがないので難しいのですが、それは普通琴を演奏する人がするものではないのですか。

**【事務局】**

スタッフが入れ替えたり、準備をしたりするみたいです。

**【会長】**

スタッフって誰ですか。

**【事務局】**

ことわ会の方です。

**【会長】**

それは演奏する人以外の人もいるということですか。

**【事務局】**

ことわ会は団体の人です。演奏される方は基本準備作業はしません。参加者される方は来てもらって箏を体験するだけで、準備等はことわ会の人がかかる予定です。

**【委員】**

屋内であるということで、事務局としては対象外になるという考えですか。

**【事務局】**

そうですね、屋内・屋外等、どこまでの作業を認めるのかをこの募集要項に盛りこめていなくて、その状態で募集してしまっているの、今回こういうものが出てきてしまったのかなと思っ  
ていまして、事務局としての考え方は当初、夏祭りやだんじりなどの炎天下で作業をする際に例  
外的に認めようという形だったのですが、なかなかその意図も募集要項に盛りこめていなくて、  
実際事務局としてもどこまでを認めようと詰めきれていなかった部分ではあるので、正直これに  
出す必要があるのかとも思うのですが。

**【委員】**

他とどう違うのかの説明をしないといけないですからね。

**【事務局】**

そうですね。他の団体さんもスタッフ作業時飲料代と色々出してくださっていますので、そこ  
も波及していくこともあるので、認めないと仕方ないとも思っており、難しいところです。

**【委員】**

琴も大きいから重労働だと言われたらね。

**【会長】**

きっちりした理由がないのでね。

**【委員】**

私も琴を触ったことがないので、どういったものなのか見えていないのが現実です。重いもの  
なのかどうかも分かりませんし、その辺もなかなか線引きできない部分でもあるのかなと思いま  
す。夏祭りの外での準備作業と室内の作業との住み分けは難しいと思います。

**【委員】**

この会を運営するにはやはりスタッフの健康管理や水分補給が必要だからという観点から認  
めているのですか。

**【事務局】**

そうですね。

**【会長】**

だんじりの時は一人ずつ買いに行けないような、水分を持っている人、持っていない人、買い  
に行く時間がない人といるので、団体でまとめて用意しておいた方が良いということで、OKに  
なってきた経緯があります。

**【委員】**

先ほど例外的に認めていたとおっしゃっていましたね。

**【委員】**

一律決めた方が良いでしょう。スタッフ関連の費用をまとめて、交通費もややこしいですよ。ね。  
募集する方からしたら分かりづらいですかね。

**【会長】**

今回はルールではないですが、次回までには検討する必要がありますね。今回は熱中症対策と

ということで。飲料代がそんなに多くないのに上げてくるのが気になりますが。

【委員】

1回10人で110人もそこまでのニーズがあるのかということと、5人でやりきれぬのかということが心配ですね。

【委員】

初めての参加ですか。

【会長】

初めてですね。

【事務局】

はい、初めてです。

【会長】

ことわ会さんからの申し出ですか。それとも他の団体さんが誘って参加したのですか。

【事務局】

他の団体さんが誘ったとかではないです。

【会長】

あとは、こういう制度にあまり参加されたことないのかもしれませんが、お箏教室と何が違うのかという辺りになってきますね。

【委員】

もう少し背景が知りたいですね。

【会長】

確かに和の楽器を継承していくという活動をされている方達もいらっしゃいますが、広めていたり、体験してもらったりと幅広いのはよくありますが、個人の楽しみのような感じがします。

【委員】

箏教室みたいですね。ご夫婦でされているのですか。

【事務局】

役員名簿を見ていただくと、家族なのか、同じ名字の方が多いですね。

【委員】

5人中3人が同じ名字ですね。家族ですかね。申請する為に飲料代を出しているようにも見えてきますね。

【会長】

それは点数で判断してもらいましょうか。

【委員】

テキストや譜面はどういう考え方をしたら良いですかね。先ほどの少年少女合唱団さんにも出ているのですが、資料代のような扱いで、今回それは書かれていないのですが、今後楽譜代のようなかたちで参加者負担も検討してほしいと思います。渡しきってしまうもので、本の譜面なら回収してまた使えますが、渡ししてしまうのなら、一定の参加者負担でも良いのかなと思います。

今後の自立の為にそう思います。

**【委員】**

発表会参加費のみお金がかかるということですよ。

**【事務局】**

そうですね、体験会はお金をもらわないというかたちです。

**【委員】**

爪は使いまわしできるのですかね。

**【事務局】**

爪に関して使いまわし可能か聞いてみたのですが、初心者向けに対して貸し出す爪であって、毎回終わったら消毒して使いまわすとのこと。

**【委員】**

賃借料の11ヶ月というのはどういう意味ですか。

**【事務局】**

練習が11ヶ月ということ。毎月4月から練習をして、最後の12ヶ月目は発表会をするということで、発表会は練習とは別で記載されています。

**【委員】**

毎月6個借りるということですか。

**【事務局】**

はい、そうです。

**【会長】**

テキストと譜面はまた決めましょうか。

**【事務局】**

はい。

**【会長】**

四季の味覚祭さんのワイヤレスマイクですが。

**【委員】**

支出の費目が報償費以外抜けていますね。

**【事務局】**

すみません。上から、報償費の次が消耗品費、食料費、印刷製本費、役務費、最後も消耗品費です。

**【会長】**

芸人の報償費というのは、どうなのですか。毎年出ていますが、これは特に今回何かあるというわけではないですよ。

**【事務局】**

そうですね、特に芸人の報償費が認められないという決まりはないですね。

【委員】

あとは、報償費の上限額をどうするかですね。今までは投票だったのでよかったです。

【会長】

申請してきて対象となった場合、申請金額をそのまま交付する可能性が高いですからね。今までは投票で決まっていたため満たされない場合もありましたが。

【委員】

ちょっと高くないですか。

【会長】

高いですね。

【事務局】

今までは1組だけでしたが、今回2組になり、増えています。

【笠井委員】

昔、夏祭りでも同じような話がありましたよね。

【事務局】

あった気がします。

【会長】

紅しょうがでしたかね。和泉市の Youtube でよくやっていますよね。

【委員】

和泉市出身の方なのですか。

【事務局】

そうです。

【会長】

その2組を呼ぶということですね。

【事務局】

はい、そうです。

【会長】

今までは土肥ポン太さんだけでしたよね。

【事務局】

そうです。

【会長】

次回からは報償費も考えましょう。

【事務局】

そうですね。



**【委員】**

こういったものは上限を決めておかないと、どんどんヒートアップしていきます。ちょいずでしたら投票で市民さんが選ぶので問題なかったと思いますが。

**【委員】**

そうですね。

**【会長】**

このワイヤレスマイクは、永続的にやっておられますし、恐らく借りるよりは持っていた方が安いのでしょうか。借りると何万円もしますよね。

**【事務局】**

そうですね、今後継続していくことも考えて買いたいということです。

**【会長】**

スピーカーもついて本当にこんなに安いのですか。結構ワイヤレスマイクって高いですよ。これで大丈夫なら備品はOKということで。

Tシャツってあったと思うのですが。ジャズストリートさんでしたかね。

**【事務局】**

はい、あります。販売用ですね。

**【会長】**

販売用なら問題ないですね。

ピアノの調律代もあって、今まで投票だったので気にならなかったのですが、音の和さんですかね。コンサートをする前にしないといけないものなのですかね。これはどこのピアノの調律ですか。

**【事務局】**

シティプラザのピアノになります。

**【会長】**

シティプラザのピアノなのに、シティプラザは調律していないのですか。

**【事務局】**

年に何回かは保守点検していると思うのですが、コンサートの際にプロレベルの音となると、委託でないとできないのかなと思います。

**【会長】**

AS アニマルの AS は何ですか。

**【事務局】**

アニマルサポートの略です。

**【会長】**

なるほど。

他に何か質問大丈夫ですか。

**【委員】**

なし

**【会長】**

そうしましたら、点数をつけていただけますでしょうか。

**【事務局】**

公益性と、発展性と、先駆性のみ10点配点になっております。お気をつけ下さい。

**【会長】**

最後の地域活性化コースにいきます。11団体の説明をお願いします。

**【事務局】**

それでは、地域活性化コースに申請された団体についてご説明させていただきます。

団体番号1 いぶき野夏祭り実行委員会でございます。事業名は令和3年度いぶき野夏祭りとなっています。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：住民同士の交流が多くない現状に対し、夏祭り開催は住民同士の交流の場を作り、地域の連帯感強化に繋がる

継続性：20年以上継続／地域の繋がりが強くなることは今後の生活に良い影響を与える／協賛金で財源確保

実行性：過去の経験や反省点を踏まえ、会議を重ね、祭りが上手くいくよう入念に準備

協働性：世代を超えて交流できる場／地域の人たちと協力して祭りを作り上げる

公開性：小学校を借りて誰でも参加できる体制をとる／チラシポスターにて周知

集客性：世代を超えて参加でき毎年多くの人が参加／過去の経験や反省点を踏まえて、皆が楽しめるよう工夫

団体番号2 松尾連合地車連絡協議会でございます。事業名は松尾連合地車祭継承事業となっています。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：地域の繋がりが希薄な現状に対して、事業を通じて子どもから高齢者まで幅広い世代が関わっている／地域の繋がりを強くする／清掃活動等の活動は住民から感謝の声をいただいている

継続性：若年層の参加者を増やすことで伝統行事としてだんじりを継承／30年ほどの歴史／幅広い世代による健全育成により、礼儀作法習得や犯罪防止にも貢献

実行性：安全対策やゴミ処理、トイレ等の予算を増額し、安心安全な祭礼催行に努める／毎月の会議にて企画や警備体制等協議

協働性：地域密着で幅広い世代が参加／地域住民の相互連携で事業実施

公開性：ポスターやティッシュによる周知／広報で祭りの情報を掲載／会報を各町に掲示し、事業内容等周知

集客性：参加者も見物客も安心できるような施策を実施

団体番号3 のぞみ野街づくり推進委員会でございます。事業名はのぞみ野夏まつり2021(17回目)となっています。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：老若男女問わず多くの人が参加／好評の声が多い／舞台や模擬店等含め、まつりは文化振興や子どもの健全育成にも貢献／地域住民の交流が希薄な現状に対して事業をすることによって、地域の繋がりが強化ができる／毎年被災地への募金実施

継続性：来場者数やボランティア数が年々増加／地域の繋がりが強化が災害時での共助にも波及／協賛金で財源確保

実行性：会議を複数回行いさらなる発展を目指す／役割分担を行い組織を編成／経験者や新人スタッフが協力し組織は安定

協働性：舞台や模擬店含めまつり全体を通して、幅広い世代・地域の交流が生まれる

公開性：チラシ配布／HPで情報発信及び写真掲載／広報掲載

集客性：参加者年々増加／誰もが安心して楽しめるまつりを目指し、様々な改善を重ねている

団体番号4 青葉はつが野世代間交流推進委員会でございます。事業名は第39回青葉台夏まつりとなっております。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：隣人の関係が浅い現状に対し、事業をすることで地域間世代間の交流を深められる／ここ数年約3,000人の参加があり好評

継続性：過去38回開催／地域の繋がり強化は非常事態が起きたときの助け合いに波及／寄付、会員やPTAの協力、夜店運営等で財源確保

実行性：実行委員会で役割分担、祭り内容検討、準備を行う／地域で活動している団体の協力がある

協働性：実行性にあるように地域団体の協力がある／校区全体からの参加があり交流が図れる

公開性：チラシ配布／掲示板にポスター掲示／自治会報掲載

集客性：たくさんの人に参加してもらえよう、会議で検討し、内容構築

団体番号5 はつが野街づくり推進委員会でございます。事業名ははつが野祭りとなっております。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：住民同士の関係が希薄な現状に対して事業をすることによって世代間交流ができ、地域コミュニティの輪が拡大する

継続性：2010年から開催／近隣者と関係を深めることは、困ったときの助け合いや連帯感の強い活気ある街づくりに繋がる／祭りに参加した子どもが、将来地域ボランティアに育っていく／ブース売上、協賛金、自治会支出金等で財源確保

実行性：推進委員会で企画、準備、運営／ノウハウが蓄積されている／若い世代にも引き継いでいける

協働性：世代を超えた交流／推進委員会内でも交流が生まれる／地域の各種団体と協力

公開性：チラシ配布

集客性：過去3年は約3,000人が参加／今後は地域防災等にも取り組む予定

団体番号6 緑ヶ丘夏まつり実行委員会でございます。事業名は緑ヶ丘夏まつりとなっております。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：好評の声8割／継続を望む声多数／オープン参加／世代間地域間の交流促進／住民同士の意思疎通の希薄化防止

継続性：平成26年度よりちよいず申請／様々なことに対しての住民の参加意識向上に波及／協賛金、夜店売上、広告料で財源確保

実行性：過去の実績を基に計画や予算作成／各種団体が集まって実行委員会を組織／毎月委員会実施

協働性：近隣団体の協力／住民主体での運営／世代を超えての交流

公開性：チラシ配布／回覧や掲示板にて周知

集客性：子どもからシニアまで参加／毎年1,000人以上の参加者／幅広い世代が参加できる工夫実施

団体番号7 国府校区納涼大会実行委員会でございます。事業名は国府校区納涼大会となっております。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はござ

いません。

公益性：市民まつりが無い現状に対して、事業を実施することで、地域のつながりを再構築できる／地域のつながり強化により犯罪や非行防止にも繋がる

継続性：17年継続／地元の継続性のある団体が主催している／地域のつながり強化により犯罪や非行防止にも繋がる／協賛金等で財源確保

実行性：過去の経験を元に予算を立案し執行する／必要最低限の経費で運営

協働性：会議を通して各団体と連携／各世代のことを考え、世代を超えて交流できるようにしている

公開性：商店街やイオン等へのポスター掲示

集客性：多くの人に参加してもらうため周知活動徹底／コロナの影響が残る場合は密になりにくいよう対策を行う／立地的に参加しやすい

団体番号8 信太連合でございます。事業名は信太連合（聖大祭・地車祭の安全対策、PR活動、清掃）となっています。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：魅力ある和泉市の発信／誰もが安心できるよう安全対策等徹底／地域交流が希薄化している現状に対して地域コミュニティ構築の効果がある／世代間交流を促進

継続性：若い世代にも祭りを継承していく／地域コミュニティの発展に波及／9町からの支援金で財源確保

実行性：定期的な会議にて、事業目的や計画の確認、意思統一を行う／事業をスムーズに展開できるよう体制を整えている／20年以上の歴史があり組織として安定

協働性：自治会や祭関係団体、店舗等、様々な団体が連携／世代間交流につながる

公開性：回覧板や掲示板活用／ポスター掲示／誰でも気軽に参加できる体制整備

集客性：多くの人に参加できるよう安全対策や宣伝活動実施／子どもから高齢者までが祭りや地域に愛を持ってもらえるよう活動に取り組む

団体番号9 上代町盆踊り実行委員会でございます。事業名は令和3年度 上代町盆踊り大会となっています。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：地域住民同士の繋がりが脆弱な現状に対し、盆踊りを通して世代間のコミュニケーションがとれる／世代や地域を越えて毎年多数の参加者がある

継続性：40年以上継続／住民同士が繋がり、日常生活の中でも良い影響を与える／寄付金により財源確保

実行性：当日に向けて会議を重ね準備／地域の団体と連携

協働性：世代を超えた住民同士の交流／地域の団体と連携

公開性：広報・回覧・掲示板・信太連合等に開催通知及び参加依頼を行う

集客性：子どもから老人まで誰でも参加でき、踊りを体験できる／毎年400名以上参加

団体番号10 泉州信太山盆踊り保存会でございます。事業名は伝承文化「信太山盆踊り」保存・普及・交流事業となっています。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：歴史や伝承の継承／地域全体の絆が希薄化している現状に対して、世代間交流を促進／魅力あるまちづくり

継続性：誰でも参加しやすい環境づくり／信太山盆踊りの魅力と歴史を広めるための活動に取り組む／協賛金や寄付金の取り組み検討

実行性：スムーズな運営／自治会や各種団体、地域住民の協力／必要最低限の予算申請／安定した組織づくり

協働性：誰でも参加しやすい環境づくり／学校園との連携／世代間交流

公開性：各種団体や学校園への情報提供／看板・回覧・掲示板の活用／子どもや高齢者、障が

い者も参加しやすい環境づくり

集客性：和泉市の魅力と誇りになる、かつ和泉市の活性化に繋がる事業

団体番号11 和泉だんじり大連合青年部でございます。事業名は和泉だんじり祭り継承事業となっています。こちらは継続事業であり、事業の必要性及び概要、事業規模について大きく変更はございません。

公益性：毎年2日で20,000人以上の観客／多くの見物客のため安全対策徹底／市民の理解が得られるよう活動を実施／地域力が希薄な現状／地域の絆強化に繋がる

継続性：各町の会費で財源確保／29年の歴史／だんじり祭り継承以外に地域コミュニティ強化にも効果あり

実行性：不平のない組織運営／年番が主体となりスケジュールや予算決定／毎月の会議で町会の連携強化及び様々な対策検討

協働性：町会同士連携して取り組む／世代間交流や地域コミュニティ強化に繋がる

公開性：ポスターやパンフレットによる周知

集客性：安全対策をしっかりとっており、誰もが安心して参加し楽しむことができる

以上で地域活性化コースの説明を終わらせていただきます。

よろしくお願いたします。

【会長】

ありがとうございます。何か質問はありませんか。

【会長】

内容がというわけではないのですが、10番の泉州信太山盆踊り保存会というのが、地縁もありますが、どちらかというところ、伝統文化継承のところ、地域活性化コースに入ってこられているのかと思いましたが、伝統文化というのが、先ほどの相撲甚句とかお琴もどうか分かりませんが、そういった伝統文化が何かという部分で将来悩むかもしれないと思いました。この泉州信太山盆踊り保存会は幸や王子辺りの方ですか。

【事務局】

そうですね、団体としても、地域に縁のある団体ということもありまして、その2つが兼ね備わって地域活性化コースということですので、その2つを持っている団体さんではあります。地域の団体でもあって、伝統文化というところもあって、このコースでエントリーされたという経緯になっております。

【会長】

地域にこだわらない伝統文化なら、ステップアップの方が良いということですか。日本全国というか。

【事務局】

はい。

【会長】

経費など、中身は問題なかったですか。

【事務局】

そうですね、地域活性化は特に問題はなかったです。

【委員】

1 点気になったのですが、コロナ対策をしているのが1団体くらいしかなく、あとはほとんど前年度と一緒にという感じがあり、来年度はコロナがどうなるのかという中で、逆に大勢が集まるイベントを皆さんされるので、その辺りの計画みたいなところは、団体からもらわないと怖いのかなと思いました。

**【委員】**

全て継続事業でしたか。

**【事務局】**

地域活性化コースは全て継続事業です。

今年度はほとんど中止されている状況ではあります。来年度についても状況によっては中止ということ念頭に入れながら応募してきているところもあると思います。その中で、対策をとってでもやりたいというところもあるとは思いますが、状況に応じて対応していかざるを得ないということで、前もってその費用を入れとくというのは良いことだと思いますが、中止を前提に考えているところもあるのかと思います。

**【委員】**

1 1 団体あって、今年実施したところはどの団体さんですか。

**【事務局】**

泉州信太山盆踊り保存会は実施していますが、それ以外の祭り関係は軒並み中止で、だんじりに関しては継承事業として、周知事業はしておりますが、祭り自体はしていません。

**【会長】**

つまりほとんどの団体はやった経験はないということですね。

**【事務局】**

そうですね、コロナ禍でやったというのはいないですね。

**【会長】**

実施するのであれば、どういう対策をするのかを事前に出していただいた方が良いですね。お金を出している責任もあると思いますので。

**【委員】**

今年度もよくあったのが、ギリギリまで準備して結局中止にするとした時に、それまでの費用をどうするのか、その辺りも課題になっていたりしたので、そこを想定して決めておいた方が良いでしょう。

**【会長】**

一番早くて夏祭りなので、夏ですね。その後盆踊りがあって、だんじりですね。

**【委員】**

細かい話になるのですが、音頭取り1つとっても、全然値段が違うので、流派によってこの人でないといけない、この人はこの金額だというのがあるのですかね。

**【会長】**

相場がわからないですね。情報収集が必要ですね。

**【会長】**

他に何かありますでしょうか。

【会長】

ちよいずで申請していたが、今回は出して来られなかった団体はありますか。

【事務局】

祭り関係は全て出してきています。

【会長】

実際に祭りはしているが、この制度に申請していない地域もあるのですか。

【事務局】

あります。

【会長】

今後可能性としては出てくるかもしれないですね。

【事務局】

そうですね。

【会長】

他にないようであれば、判定をお願いします。

—採点表集計・意見交換（非公開）—

【事務局】

では、令和3年度の事業スケジュールについてご説明させていただきます。次第の下部をご覧ください。本日審査をしていただきました令和3年度の応募団体につきましては、4月1日に審査結果の通知・公表等を行います。令和3年度の第1回審査会は4月下旬を予定しております。第1回審査会では、事業内容の変更申請をする団体等さんがあれば、その審査をしていただく予定なのですが、変更申請の提出状況等を鑑みまして、開催時期がずれる可能性がありますので、状況を見つつ、委員さんと調整させていただけたらと思っております。第2回審査会につきましては、9月上旬を予定しております。第2回審査会では、事業の実績報告や事業内容の変更申請についての審査をしていただく予定でございますので、またご出席のほどよろしく願いいたします。

【会長】

第1回審査会は変更を見るだけの会ですか。

【事務局】

変更申請や検案事項等ございましたら一緒に協議させていただけたらと思っております。

【会長】

発表するのは4月1日なのですね。

【事務局】

はい。

【会長】

ちよいずの時は3月中に発表していませんでしたか。

**【事務局】**

4月に入ってから正式な決定通知を送っておりました。新年度の通知がどうしても4月入ってからでないといけないという、行政側の会計処理の関係になります。

**【会長】**

将来的には私達が直接それぞれの団体さんにあれこれ言う場所はないが、こうしたら良いよ等アドバイスとか一緒に考えてあげられる様な場所とか、アイあいロビーのような感じになるかもしれませんが、あつた方が良いかも知れませんね。特にチャレンジコースの団体は、自分達だけで頑張っていてという感じではなく、誰かに相談しながらできる方が良いのかもしれないですね。言ってあげた方が良いこともありますし。もっとアイデアが浮かぶような他の事例も聞けるかもしれない。

**【委員】**

報告書の時は少し協働性の部分の解釈にバラつきがあるように感じます。色んな人が、メンバーで協力し合っているから協働なのだという解釈、それも1つの協働なのですが、他団体とか、他の機関とか行政とかとの連携とかで書かれた方が良いのかなと思いました。報告書の時には必ず、団体名まで書いてもらっても良いかもしれないですね。どういう団体と協力しましたのようの方が良いと思いました。今回も具体的な団体名や機関名を出している団体さんもありましたが、こういう団体と連携する予定ですと書いていたのが、報告の時にはちゃんとやったのかどうか分かるようにしたいので、連携した団体名が書けるのであれば、書いていただく方がより団体さんとしての実績にもなると思いました。

あとは、自主財源の内訳がない団体さんもあり、協働のそもそもの意味合いが伝わっていないかなという団体さんが割と多かったです。説明会はありましたっけ。

**【事務局】**

はい、説明会はさせていただいたのですが、制度全て通しての説明というかたちであったため、個別の文言部分の解釈や書き方にバラつきが出てきているというのは、ご指摘の通りだと思います。

**【委員】**

チャレンジコースは特に、せっかくお金を出すのだったら成果を出していただいて、次に結果を残していただきたいですね。

**【会長】**

審査委員が見て審査しやすい書き方があると思うので、ちゃんと書いてくれて慣れている団体とね。教えてあげたら審査員もやりやすいですね。

**【委員】**

本当はやっていることが書面にあがってきていないとかだともったいないですね。

**【会長】**

そうですね、それが多いと思います。

**【会長】**

他に何かないですか。

**【会長】**

他にないようですので、これにて本日の審査会を終了します。



**【司会】**

ありがとうございました。